

消費税の納付と補助金等について

事業者は、課税売上にかかる消費税から、課税仕入にかかる消費税額（以下「仕入控除税額」という。）を控除した金額を、税務署に納付します。

一般課税の場合の例

| | | |
|------------|-------------------------------|-----------------|
| 売上 (収入) | 課税売上 550 万円 (消費税額 50 万円) | 非課税売上 200 万円 |
| | | (納付税額 20 万円) |
| 仕入 (支出) | 課税仕入 330 万円 (仕入控除税額 30 万円) | 非課税仕入 420 万円 |

一方、補助金等は、消費税の負担を目的とした部分があるにもかかわらず、制度上、非課税売上として計上されており、結果として、補助金等に組み込まれた消費税相当額が、消費税負担（支出）という目的に使用されないことになります。

そのため、補助金等にかかる消費税相当額を返納していただきます。

一般課税で補助金等がある場合の例

| | | |
|------------|-------------------------------|----------------------------|
| 売上 (収入) | 課税売上 440 万円 (消費税額 40 万円) | 非課税売上 310 万円 |
| | | 補助金 110 万円 (消費税額 10 万円) |
| 仕入 (支出) | 課税仕入 330 万円 (仕入控除税額 30 万円) | 非課税仕入 420 万円 |

(納付税額 10 万円) 返納額